

令和4年度 宇佐市在宅医療・介護連携多職種研修会 アンケート結果
 (第2回 認知症対応力向上研修会) 令和5年2月8日開催

- 1.研修会申込者 147名 (講師3名、事務局8名除く)
 2.アンケート返却 95名
 3.アンケート返却率 65%

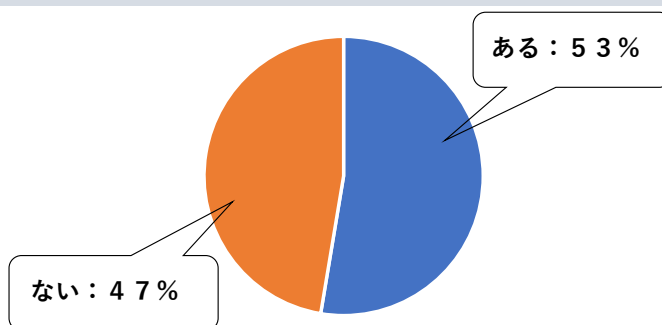
【問 1】 貴方の所属機関において主としている業種の職種をお答えください

医師	12
歯科医師	2
薬剤師	4
保健師	1
看護師・准看護師	15
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	4
社会福祉士・医療ソーシャルワーカー	6
介護支援専門員	12
相談員・生活相談員	7
介護福祉士	4
ヘルパー・訪問介護員	1
福祉用具関係	1
管理職	5
事務職	10
その他	11
計	95

介護士：1
 健康運動指導士：1
 社会福祉協議会：6
 成年後見相談員：1
 認知症予防教室担当：1
 児童館：1

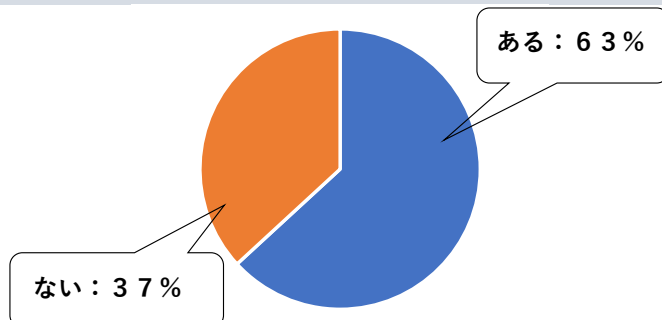
【問 2】 これまでに、若年性認知症当事者の話し(思い)を聞いた事がありますか

ある	50
ない	45



【問 3】 これまでに、若年性認知症の家族の話し(思い)を聞いたことがありますか

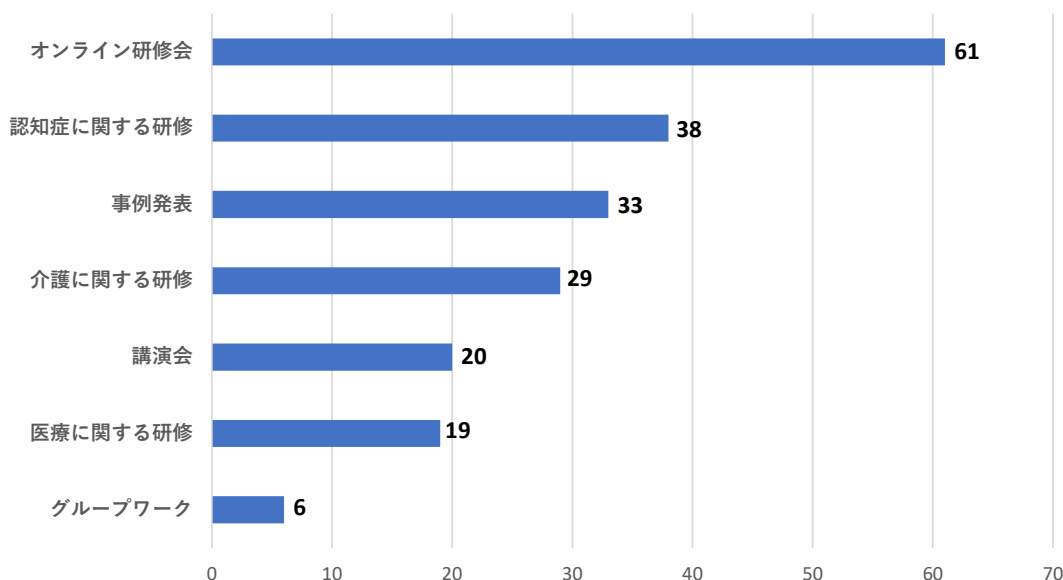
ある	60
なし	35



【問 4】若年性認知症について知りたいこと(質問)などを記載してください

- ・現在、事務局で回答を作成中です。回答が出来次第、当センターホームページに別途掲載しますのでご確認をお願いします。

【問 5】今後取り上げてほしい研修会の方式やテーマがありましたらお選び下さい (複数回答可)



【問 6】本日の研修会で印象に残ったこと、ご意見、ご感想を教えてください ※一部抜粋

《医師》

- ・お疲れ様でした。またこのような企画をお願いします。
- ・若年性認知症の患者様の気持ちがわかりよかったです。
- ・最後の医師に対する要望にドキッと、態度を変えないと思いました。
- ・ネット環境がすごく悪く聴きづらかった。

《薬剤師》

- ・家族の思い～絆～の講演にすごく感動しました。本人、家族の気持ちがよくわかりました。少しずつ進んでいく症状に薬剤師としてかかわることが出来たらと思いました。
- ・なでしこホームの吉川先生のお話をもっと聞きたかったです。お話しの内容もお話しの仕方とても良くて吸い込まれるように聴きました。

《保健師》

- ・本人の思いをかなえることができる環境整備をみんなで取り組もうという「パートナー」というテーマでの本人、家族、支援者の3者のお話は心に響きました。「認知症に一足先になった私から」のメッセージ、「その時その人がパートナー」という家族の思い、「症状が役割になり、支援者は当事者の希望をかなえること」という言葉を忘れずに、これから共に学んで歩んでいきたいと思います。宇佐市はすごいですね！

《看護師・准看護師》

- ・吉川さんの介護力は主に当事者との関わり方を大事にされている事が私の目指している支援のあり方だと再確認できました。また、植山先生のまとめのお話は、前日も思ったことですが謙虚で尚且つご自分がしていきたいと言う思いをさらけ出してくださりとても共感をうけました。この研修に参加できてよかったです。ありがとうございました。
- ・当事者・家族の思いは大変心打たされるものでした。また、なでこの吉川さんの話は発想の転換を改めて知らされました。また、ゆっくり講演して頂きたいと思いました。
- ・本人や家族の生の声をきけ、心にひびきました。今後の看護に生かしていきたいと思います。
- ・「人を見る」病気をみるのではなく人を見る。支援をする上でとても大切なことだと思いました。『認知症は人それぞれで症状が違います』と言っているのだからわかっているのについ病名に流されてしまう時があります。

《理学療法士・作業療法士・言語聴覚士》

- ・当事者の方の話を聞いてよかったです。
- ・若年性認知症を有する方が実際に相談に乗り、前向きに取り組んでいる姿を知ることで明るい未来が見えてくることはすごく勇気づけられることだと感じました。若年性認知症に関わらず、認知症の方への対応として自分らしさを尊重できる関わり方を意識して取り組んでいきたいと感じました。

《社会福祉士・医療ソーシャルワーカー》

- ・初めて若年性認知症の方、ご家族、支援者の方からの講演を聞きました。当事者の方からの生の話を聞くことができ大変勉強になりました。心を打たれる大変良い講演でした。ありがとうございました。
- ・「本人の思い」…戸上さんがとても明るく色々な話をしてくださり、自分の中で勝手に”若年性認知症”像を作り上げてしまっていたことにハッとさせられました。色々な思い、経験をされたと思いますが、戸上さんの存在が周りの気づきや励みにつながるといいますのでこれからも多くの方に体験談、思いを話していただけたらと思います。
- ・「家族の思い」…足立さん夫婦についてはテレビ放送で存じていましたが、由美子さんが”若年性認知症の夫”ではなく足立昭一さんとどう向き合い、変化してきたかの話を聞けとてもよかったです。また具体的にどうして欲しいということを知ることができ、(若年性認知症の方以外の方にも通じる所があると思いますので)今後の支援に生かしていきたいです。
- ・「支援者の思い」…良い意味で福祉職っぽくなくて、お話が面白かったです。戸上さん、吉川さんの人柄、関係性を見ていると、支援する側、される側ではなく”パートナー”であり、なでこガーデン行ってみたいと思う方の気持ちがすごくわかりました。

《介護支援専門員》

- ・ピアサポーターの戸上氏の「出来なくなったが出来ることを手伝いたい」という言葉。認知症の人と家族の会の足立氏の「その時その人がパートナー」という言葉。有限会社なでこの吉川氏の「手段をゴールにしない」という言葉が印象に残りました。
- ・型にはまった支援でしか考えらなくなっているため、もっと柔軟に自由に視点を変えてみたらもっと利用者さんのQOLも向上するかもしれないと考えさせられました。
- ・若年性認知症で当事者、家族、支援者それぞれの思いが聞いて大変良かったです。

- ・今回、若年性認知症当事者の方のお話を聞くことができ、同じ疾患で引きこもっている方のお話を聞き、デイに誘ったりしている活動など(ピアサポーター)を知り、素晴らしい活動をされていることに大変感銘を受けました。話も疾患から聞くのではなく、趣味を聞いたりされることで私たちケアマネジャーも最初のお話を聞くときの姿勢から(紙とペンを持ってではなく)考えないといけないと感じました。また介護者の方の言葉もとても心に深くささるものがありました。病気としての個人を見るのではなく、その人個人と向きあうことが大切であり、ご主人の言われていたアイデンティティを大切にすることがとても大事であると気付かされました。そしてなでしこ代表の吉川様の活動やケアマネジャーとしての関わりを事例を通してお聞きし、とても重要な学びをなりました。
- ・当事者、家族の方、支援者の方と生の声がきけてとてもよかったです。支援者として、反省すべき点がありました。支援者側からしか見えてなかったように思います。これからは本人の思いなど本人にきいていきたいと思います。

《相談員・生活相談員》

- ・アプローチの方法を学ぶことが出来ました。今後、業務でフィードバック出来るように出来ればと考えます。
- ・今回初めて、認知症に関する研修を受けました。分野は障がい福祉サービスなので、他分野になるのですが、実際、弊社を利用していた方が、若年性アルツハイマーという診断を受けたことがあったので、今後の支援のために受講させていただきました。今回、ピアカウンセラーの方と、そのケアマネジャーの方のお話は、とても衝撃を受けました。その人より、まずその人を取り巻く環境に目を向けるという話は、障がい分野でも良く聞く支援の形です。またケアプランの最終目標は、その人が望む将来という点が、障がい福祉サービスでは、個別支援計画における長期目標という所になると思います。その人が望む形を文章にしてきちんと計画に落とし込んでいるのかどうか、自分を振り返る良い機会となりました。ようこそ、認知症の世界へという一言がとても印象的でした。障がいがあってもなくても、その人らしく、どう楽しく過ごすことが出来るのか、同じテーマだと思っています。

《介護福祉士》

- ・若年性認知症の方が環境を整えると良いということ、本人・家族・支援者の話しが聞けて良かった。
- ・デイサービスがあり、働くところがあると云うことはいいですね。

《ヘルパー・訪問介護員》

- ・足立由美子氏ご主人との絆、心配な事もいっぱいあったと思う。地域認知症促進員、昭一さん畑の仕事など笑顔でされているのを見てもし自分が若年性認知症になったらと思うと考える。大変良いお話が聞かれ良かったです。

《福祉用具関係》

- ・実際の経験の成功事例や失敗事例など大変参考になりました。質問にも記載していますが、今後対応していく際に成功事例や失敗事例など一覧が見れると向き合い方も変わってくるのではないかと感じました。

《管理職》

- ・支援を行っていく上でご本人やご家族の想いを知ることができてよかったです。それを踏まえ今後の業務にいかしていきたいと思います。

《事務職》

- ・家族の方のノートでのやり取りでのエピソードが、とても心に残りました。認知症の方の思いを初めてお聞きして、また認知症になっても周りの環境や、支援で自分らしく生活できることを知り、良い研修となりました。今後活かしていければと思います。
- ・当事者の思い、パートナーの思い、支援者の思い、それぞれとても勉強になり、良い経験をすることができました。できればもう少しそれぞれのお話をゆっくりお聞きしたかったです。本人の思いを大事にした支援を心がけていきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・研修会の開始時間、内容と大変良かった。また是非企画してほしい。吉川氏の時間を多めにとってほしい。

《その他》

- ・『アルツハイマー型』ではなく、『〇〇〇〇さん型』であるのだという言葉が印象的でした。個々の思いや症状を理解し、支援することが何より大切であると再確認しました。
- ・当事者の方がとてもイキイキとしている事。自分の居場所、役割があるという事の大切さ。その人の人生が大きく変わると感じた。吉川さんのお話は、個性(その人の病気の特徴)を生かしながらの支援ですごいあ～の一言。宇佐市にもなでしこガーデンの様な居場所ができたらいいな。
- ・「できることに取り組む意欲」「周りの人だけで決めず一度は相談してほしい」「人間の尊厳」心を揺さぶられました。
- ・認知症の症状を個人の個性として受け止め、強みに生かす工夫づくりが必要だと思ったし特性を生かすという意味で環境作りが一番大切だと思った。『認知症だから』という枠組みに捕らわれすぎないようにあくまでその人個人の病気の周辺症状であるので一人一人の背景や周囲を理解して本人の支援に臨みたい。